



医療福祉の地域創造会議 通信 第140号



令和7年度 医療福祉の地域創造会議 総会・研修会
令和7年8月24(日)

プログラム

【総会】
令和6年度事業報告・決算報告／令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)

【研修会】

講演 1

「看取りについて～2025 年問題を迎えて」

講師：フリーランスライター 早川 さくら 氏

講演 2

「滋賀県「死生懇話会」を通じての出会い」

講師：滋賀県総合企画部 企画調整課 企画第二係
参事兼係長 森 陽子 氏

令和7年度役員名簿（敬称略）

（代表幹事）高橋健太郎 （幹事）三木恒治、中村彰彦、木村昌義、市川忠稔、三ッ浪健一、
永田かおり、鈴木則成、山田忠利



高橋代表幹事

超高齢社会に突入し在宅医療・訪問診療の受容も増加。外来医療・在宅医療、介護との連携がますます必要。

全世代型地域包括ケアシステムの構築に向けて、さらに充実・発展した取り組みを進めていく。

医療福祉の人づくりや地域医療の体制整備を通じて、誰もがここからからだの健康を実感できる社会の実現をめざしている。

9月から開催される、国スポ・障スポを通じて、「健康しが」の実現につながることを期待している。



岸本副知事

講演 1



早川 さくら さん

戦後、京都西陣の町は貧困で医療にかかることができない。→住民運動により診療所設立→医師として早川一光先生が呼ばれた→手術や入院ができる施設を、と堀川病院に発展→家に帰りたい、家で死にたいという願い→地域医療、在宅医療の始まり。

早川先生 70 歳過ぎに聴診器と電話だけで、自宅による診療所開設。90 歳で初入院の後に、約 4 年在宅療養。

現在、深刻なヘルパー不足により、在宅療養の危機→ヘルパーの社会的地位向上、労働に見合った対価を。介護は人間社会に必要不可欠、当事者や家族、親の責任ではない。どう生きるかを考えておこう。

在宅療養を支える人たちについて、訪問診療、訪問看護師、訪問介護福祉士、等々それぞれの職種が在宅療養において担う役割や実際の声を紹介していただきました。

- ・早川先生による診療所に、専門職の方も相談もされていたのか。
- 専門職からの相談もあり、患者さんの立場に立った答え方をしていた。
- ・医者になる学生に、さくらさんよりアドバイスをいただきたい。
- ボトムアップの動き、当事者の気持ちがわかる医者になって欲しい。
- ・早川先生の療養期間の生活で、使ったサービスや後からわかったことは
- 訪問サービス受けていた。寂しい、怖いとよく言っていたので、心のケアを考えていってほしい。訪問入浴は同姓であれば良かったかな。
- ・早川先生の取組が地域に広まったキーパーソンはどのような方か
- 住民代表の方、地域代表の方

講演 2



森 陽子 さん

2020 年知事の新年の挨拶が発端。

「死」に向き合う場づくりを行う。→行政が取組を行う意味は→死や死生観は社会的なテーマでもある。行政の取組だからこそその参加しやすさ。共有したい人と出会える。住みやすさ、生きやすさをつくる行政の使命。

死生懇話会はお互いの命が大切だと感じたり、人生について自然に話せる。誰にでも共通のテーマである死を語ることが当たり前前の雰囲気づくりになり、生きるヒントやエネルギーにもなる。

死生懇話会 参加者の声

人は弱さでつながるものではないか。弱さを表明するためには相手への信頼感がないとできない。死について考えることは、今とこれからをどのように生きていきたいか。何を大切に、どう時間を使うかを考えることにつながる。そういう視点は業務にも活かせる。

参加者の声

- ・早川先生の取組みが地域連携で非常に大事だと改めて感じた。多職種から多業種という地域になっていくと変わっていく。ACP の大切さを市民にどうやって伝えるだろうということを考えている。
- ・在宅医療が全てではないので行政の役割としては、地域のすべての人が望む死に方を叶えられるような環境作りを進めていかなければいけない。
- ・死生懇話会の取組みを若い世代にも広めていくと、どのように生きたいか、などを考えるきっかけにもなるのでは。死だけでなく生き方や生きがいについてももっと話を展開していくのも良いのでは。
- ・自分の職場でもこのような話す場をもうけたい。

【次回ワーキンググループ会議】

○日時：令和7年9月25日(木) 18:30～20:00

○場所：滋賀県庁新館7階大会議室（Web可）

○テーマ：「高齢者福祉施設（特養）を活用した

子どもの夜の居場所づくり」

○話題提供者：特別養護老人ホーム カーサ月の輪

施設長 日比 晴久 さん



医療福祉の地域創造会議 事務局

（滋賀県庁 医療福祉推進課内）

Tel 077-528-3529

e-mail info@chiikisouzoukaigi-s higa.jp